



## &lt;展覧会 開催のお知らせ&gt;

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体である「あいおいニッセイ同和損保」のメセナ活動の一環として、全国の大学、美術大学で日本画を学んだ学生の展覧会を 2021 年より開催しています。  
この活動は、さらなる「文化芸術振興」を目指し、若手の日本画家を対象とした発表の場の提供、また地方大学の卒業作品展示等や各地域と連動した企画の実施により「地方創生」を推進するギャラリー開設の主旨によるものです。  
今回は、4 月 29 日(金)から「名古屋芸術大学 日本画コース」磯部絢子 福本百恵 の展覧会を開催いたします。

## ■タイトル / 『不透明な視界-Invisible wall-』

～第 10 回大学日本画展 &lt;名古屋芸術大学 日本画コース二人展&gt;

## ■会 期 / 2022 年 4 月 29 日(金)～5 月 15 日(日) 11:00～19:00 (月曜定休)【入場無料】

\* 新型コロナ感染拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります

ご来廊の前には必ずギャラリーの HP/ <https://unpel.gallery> または Twitter/ [https://twitter.com/unpel\\_gallery/](https://twitter.com/unpel_gallery/) をご確認ください

## ■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

## ■参加作家名（ふりがな）

・磯部絢子（いそべじゅんこ）

・福本百恵（ふくもともえ）

## ■主 催 / 名古屋芸術大学 日本画コース

## ■企 画 / UNPEL GALLERY

## ■協 賛 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

## ■展覧会内容

静謐な表現の中、モチーフの向こう側にある内包された感情を鑑賞者に浸透させる磯部絢子と、艶やかな色彩を伝統と革新の交錯点に立ち、現代花鳥画として自己表現を確立させている福本百恵による作品展です。

共に名古屋芸術大学日本画コースで学び、現在は作家として研鑽を重ねています。

画風においてはモノクロームでミナルな印象の磯部、カリストで感情移入の強い福本という対照的な印象を与えます。

今回その様な二人が、共通テーマ『distance』を掲げ描いた屏風や、サイズを合わせた大作を軸として、近年自身のテーマとして制作している作品を展覧いたします。

作家としての日々の思いを具現化した内容ある展示です。この機会に何卒ご高覧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 【展示予定作品サイズ】

各作家 180×600 cmの大作と共通テーマによる二曲半双屏風、他小品含め計 10～12 点展示予定。

## &lt;ご連絡・お問い合わせ先&gt;

■ギャラリーオフィス 11:00～19:00（担当/中島 内城）

E-mail / [tsubaki@un-pel.com](mailto:tsubaki@un-pel.com) TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

\* お問い合わせは E-mail にてお願いします

## ●作家プロフィール

磯部 絢子 - ISOBE JUNKO-



「Day gone by」1710×1760(mm)

麻紙 岩絵具 銀箔 金属泥 グラファイト 2022 年

愛知県出身

2013 名古屋芸術大学大学院 美術研究科 美術専攻 日本画制作研究領域修了

現在 新日春展会友

### [個展]

2016-18「INTER PLANET×名古屋芸術大学」(土岐プレミアムアウトレット/店内常設展示)

2017 「あつめたあとにのこるもの」(5/RHall&Gallery/愛知)

「はじまりのおと」第1回若手アーティスト支援企画(蒲郡市博物館/愛知)

2019 「moment to moment」(5/RHall&Gallery/愛知)

2020 「drops」(ギャラリーMOS / 三重)

2021 「place.」(ガリラペ/愛知)

### [受賞]

2015 第2回「改組 新日展」入選 東海展 中日賞

2017 第1回「新日春展」奨励賞

2018 第27回「臥龍桜日本画大賞展」奨励賞

2021 第3回 安曇野涼風扇子展 涼風賞

夕方、灰色の空にそわそわしていると、

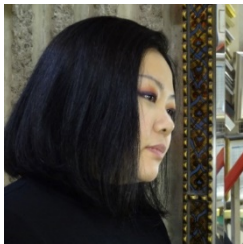
雨が降り初めて自分の中でスッキリした気分になる。

それは、何かを洗い流すような浄化された気分で、

流れる道筋、交わる音、空気の匂い

日常の中で感覚的に残る予感や情景を集め、さらに取り除いていくことで残された私の中の景色

福本 百恵 -FUKUMOTO MOMOE-



香川県出身

2008 名古屋芸術大学大学院日本画研究科  
修了

現在 日展会友 新日春展会友 名古屋芸術大学非常勤講師

[個展]

2013 個展「福本百恵日本画展—命の雫—」(名古屋丸栄ギャラリーエスパス 同'15)

2014 個展「福本百恵日本画展—命の雫—」(大丸京都店アートサロンエスパス 同'16)

2015 個展「福本百恵日本画展」(松坂屋名古屋店 同'17 '19)

2017 ART FAIR TOKYO 福本百恵展(東京国際フォーラム) / 福本百恵日本画展(三越高松店 同'20)

2018 福本百恵日本画展(天満屋福山店) / 福本百恵日本画展特集(三陽百貨店) / 福本百恵日本画展(三越松山店)

2019 福本百恵日本画展(あべのハルカス近鉄本店)

2020 福本百恵日本画展(中津万象園・丸亀美術館)

2021 福本百恵展-colors-(新生堂)

[受賞歴]

2012 第 58 回全関西美術展 第 3 席受賞(大阪市立美術館)

2018 第 2 回 新日春展 奨励賞受賞(東京都美術館) / 第 8 回前田青邨記念大賞展 優秀賞

第 27 回臥龍桜日本画大賞展 奨励賞

2019 第三回新日春展 新日春賞受賞(東京都美術館) / 香川県文化芸術新人賞受賞

2021 日本画の可能性-若手作家からの提言- CBC 賞受賞(古川美術館)



「不透明な視界」1710×1760 (mm) 麻紙彩色 2022 年

花鳥画を擬人化して制作。

屏風の樁は見えぬ壁をイメージ。壁を隔てる事が今では常識になりつつある今コロナ禍で人々はどのように変わったのだろうか。

角度を変えることで見えぬ部分が見えてきた世界を表現。